

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 6 部門第 4 区分  
 【発行日】平成 19 年 5 月 17 日 (2007.5.17)

【公開番号】特開 2000-293938 (P2000-293938A)  
 【公開日】平成 12 年 10 月 20 日 (2000.10.20)  
 【出願番号】特願 2000-83513 (P2000-83513)  
 【国際特許分類】

**G 1 1 B 20/10 (2006.01)**

**G 0 6 F 3/06 (2006.01)**

【F I】

G 1 1 B 20/10 3 0 1 Z

G 0 6 F 3/06 3 0 2 D

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 3 月 22 日 (2007.3.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

プロセッサ (16、206) と、  
 複数の実行可能な命令 (21) を記憶するためのメモリ (18、20) と、  
 プロセッサ (16、206) に応答する読み出し / 書き込みドライブ (22、202) とを含み、  
 実行時に命令 (21) により、前記プロセッサ (16、206) が、第 1 の動作モード中にデータユニット (P1 ~ Pn) を、少なくとも 1 つのデータユニットの全長にそれぞれ及ぶギャップ (G1 ~ Gn) によって分離するようにし、前記プロセッサ (16、206) により、前記読み出し / 書き込みドライブ (22、202) が、前記第 1 のモード中に前記分離されたデータユニットを書き込むようにし、  
 実行時に命令 (21) により、前記プロセッサ (16、206) が、第 2 の動作モード中に前記分離されたデータユニットを前記読み出し / 書き込みドライブ (22、202) により読み取らせるようにし、前記プロセッサ (16、206) により、前記読み出し / 書き込みドライブ (22、202) が前記第 2 のモード中に読み出されたデータユニットのショートシーク内で前記ギャップ (G1 ~ Gn) にデータユニットを書き込む、装置 (14、200)。

【請求項 2】

前記プロセッサ (16、206) が、前記データユニット (P1 ~ Pn) を空ファイルでインタリーブすることによって前記データユニットを分離し、前記インタリーブされたファイル / データユニットが前記第 1 のモード中に書き込まれる、請求項 1 に記載の装置 (14、200)。

【請求項 3】

前記ギャップ (G1 ~ Gn) が、前記データユニット (P1 ~ Pn) の全長の少なくとも 2 倍である、請求項 1 に記載の装置 (14、200)。

【請求項 4】

前記第 1 のモード中に第 1 の位置が書き込まれ、移行期間は、前記第 2 のモードがコマンドされると開始して、前記第 1 の位置が前記第 2 のモード中にアクセスされると終了し、前記移行期間中に中間のギャップの一部にデータユニットが書き込まれることにより、少なくとも 1 つのショートシークが前記移行期間中に実行されることを可能にする、請求項 3 に記載の装置 (14、200)。

**【請求項 5】**

入力ビデオ信号を符号化するためのエンコーダ（210、212）であって、前記符号化されたビデオ信号が、前記第 2 のモード中に前記パターンで媒体（10）に書き込まれる、エンコーダ（210、212）と、

前記第 2 のモード中、前記媒体（10）から読み出されるデータユニットを復号するためのデコーダ（218）とをさらに含む、請求項 1 に記載の装置（14、200）。

**【請求項 6】**

前記エンコーダ（210、212）が、双方向フレームを使用することなく前記ビデオ信号を符号化する、請求項 5 に記載の装置（14、200）。

**【請求項 7】**

前記命令（21）が、選択されたデータユニットをスキップするように前記プロセッサ（206）にさらに命令する、請求項 1 に記載の装置（14、200）。

**【請求項 8】**

前記命令（21）が、DVD 分岐機構およびプロトコルを用いて前記動作を実行するように前記プロセッサ（206）にさらに命令する、請求項 1 に記載の装置（200）。

**【手続補正 2】**

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0044

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0044】

通常読み出しモード中、マイクロコントローラ 206 は、ディスク 10 から圧縮されたビデオストリームを読み出して、この圧縮されたビデオストリームを第 3 のバッファ 220 に（バス 204 を介して）記憶するよう、DVD ドライブ 202 にコマンドする。次に、マイクロコントローラ 206 は、第 3 のバッファ 220 に記憶されたビデオストリームを解凍して、解凍されたビデオストリームを搬送する信号 VOUT をビデオモニタ 222 へ送信するよう、デコーダ 218 にコマンドする。

**【手続補正 3】**

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0049

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0049】

再生 / 記録モード中、マイクロコントローラ 206 は、第 1 の入力ビデオ信号 VIN1 を圧縮して、圧縮されたビデオストリームを第 1 のバッファ 214 に記憶するよう、第 1 のエンコーダ 210 にコマンドする。また、マイクロコントローラ 206 は、ディスクから GOP を読み出し、同時にバッファに格納された GOP をディスク 10 に書き込むよう、DVD ドライブ 202 にコマンドする。バッファに格納された GOP は、読み出される GOP のショートシーク内でギャップに書き込まれる。ディスク 10 から読み出された GOP は、第 3 のバッファ 220 に記憶され、デコーダ 218 により解凍される。解凍されたビデオストリームを搬送する信号 VOUT は、表示のためにビデオモニタ 222 に送信される。